

# 第 1 1 回発言要録

## 司会（細川安全安心推進課長補佐）

ただ今から，第 1 1 回広島県「減らそう犯罪」推進会議を開催いたします。

本日の司会を務めさせていただきます警察本部安全安心推進課の細川でございます。よろしくお願いいたします。

はじめに，当推進会議の会長である湯崎知事より，御挨拶を申し上げます。



## 湯崎会長（県知事）

委員の皆様には，御多用中にもかかわらず，第 1 1 回広島県「減らそう犯罪」推進会議に御出席を賜り，誠にありがとうございます。

本県では，全国に先駆け，平成 1 5 年から「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動を展開し，県民の皆様をはじめ，関係機関・団体等幅広い御協力を頂いたことにより，平成 2 3 年の刑法犯認知件数は戦後最少となるなど，一定の成果を上げることができました。皆様のこれまでの取組に対し，深く感謝を申し上げます。

しかしながら，子どもや女性が被害に遭う犯罪や高齢者を狙った振り込め詐欺の増加など県民の日常生活を脅かす犯罪は跡を絶たず，予断を許さない状況にあります。

このような中，本県としては，今後とも日本一安全・安心な広島県の実現を目指して取り組んで参りますので，引き続き御協力を頂きますよう，お願い申し上げます。

さて，本日の会議は，平成 2 4 年の施策を踏まえて，平成 2 5 年の取組方向を確認し，目標の実現に向けて相互の連携・協力を高めることを目的としております。

委員の皆様には，忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げます。開会の御挨拶といたします。



## 司会

ありがとうございました。

本来であれば，ここで出席者の御紹介をさせていただくところですが，本日は，時間の都合上，お手元に配付しております「出席者名簿」によりまして，御紹介に代えさせていただきますので，御了承願います。

これより，議事に移りたいと思います。

議事進行につきましては，規約により，湯崎会長にお願いをいたします。



## 湯崎会長

議事進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、はじめに県内の犯罪情勢について説明を行います。事務局から説明をお願いします。

## 事務局（塩崎減らそう犯罪情報官）

（資料1により県内の犯罪情勢について説明）

## 湯崎会長

ありがとうございました。何か、御質問はございますか。

（質問等なし）



それでは、県及び広島市から、「安全・安心なまちづくりの取組について」説明をお願いします。最初に、県環境県民局県民活動課からお願いします。

## 県環境県民局県民活動課（藤永県民活動課長）

（資料2-1により安全・安心なまちづくりの取組について説明）

## 湯崎会長

何か、御質問はございますか。

（質問等なし）



よろしゅうございますか。それでは、続いて、広島市市民局から説明をお願いします。

## 広島市市民局（佐伯市民局長）

（資料2-2により広島市における安全なまちづくりの推進に関する取組について説明）

## 湯崎会長

ありがとうございました。何か、御質問はございますか。

（質問等なし）



続いて、県教育委員会から「子どもの安全確保に向けた取組について」説明をお願いします。

## 県教育委員会（山田総務課課長補佐）

（資料3 - 1により平成24年度不審者情報ほか及び資料3 - 2により平成24年度防犯教室講習会開催について説明）



## 湯崎会長

ありがとうございました。何か，御質問はございますか。

（質問等なし）

以上で，説明を終わります。

それぞれ積極的な取組をありがとうございました。今後ともよろしく御協力をお願いいたします。

それでは次に，平成24年の取組状況及び平成25年の取組方向について協議を行います。事務局から説明をお願いします。

## 事務局（井上安全安心推進課調査官）

（資料4により平成24年の取組状況及び25年の取組方向について説明）



## 湯崎会長

ありがとうございました。何か，御質問はございますか。

（質問等なし）

それでは，皆様方から，御意見等をお伺いしたいと思います。

福山大学の山下さんは，子どもたちの安全・安心のために「地域安全マップ」の取組をされていると伺っておりますが，御紹介いただけますか。

## 山下委員

本年度より学生代表として，「減らそう犯罪」推進会議委員に就任いたしました，福山大学人間文化学部心理学科犯罪心理学研究室の3年の山下勇樹と申します。よろしく申し上げます。

私は，今，P A C E 福山という団体に所属してまして，主に福山市の小学校で地域安全マップ作りに参加しています。今日は，この活動について説明させていただきます。

P A C E とは，広島の地元大学の学生ボランティアによる地域安全マップ作りを支援するネットワーク組織です。また，P A C E には，子どもの安全な場所に集まり子どものペースに併せて一緒に活動するという意味も込められています。

私たちP A C E 福山支部が行っている地域安全マップの活動は，直接，小学校からの依頼を受け事前に打合せを行い，小学生の事前学習や班編制，フィールドワーク，地域安全マップの作成，発表といった流れのすべてを学生のみで行っています。子どもたちに安全な場所と危険な場所をどのように見分けるのか理解してもらうことを主な目的としています。



地域安全マップには、場所に注目する領域性と監視性の2つの考え方があります。まず領域性は地域住民の絆が強い範囲のことであり、監視性は地域住民から犯罪者の行動を把握できることであります。地域安全マップは、この領域性と監視性の視点が犯罪に弱い場所すなわち領域性や監視性が低い場所を洗い出したものです。

小学生の事前学習として、先ほどの領域性と監視性から防犯についてのキーワードを使った分かりやすい講義を行っています。キーワードは小学生にも分かりやすい安全と危険の区別です。危険のキーワードは、誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所で、安全のキーワードは、誰もが入りにくく、誰からも見えやすい場所となります。

フィールドワーク終了後は、小学校へ戻り、地域の中で見つけた安全な場所と危険な場所をまとめた地図を作り、それをグループ単位で発表します。机上で学ぶだけでなく、実際に体験しそれをマップという形でまとめ、児童全体の前で発表します。

私は、これからも、この活動を続けていき、多くの子どもたちに防犯の知識の大切さと、まちづくりの大切さ、そして何よりも様々な人とかかわっていくことで得られるものの大切さを伝えていきたいと思っています。

これからも子どもの安全と健全な心の成長が成し遂げられるように地域安全マップを通して、私自身もP A C E福山支部として、また地域社会の一員として、貢献していきたいと思えます。御清聴ありがとうございました。

#### 湯崎会長

どうもありがとうございました。

我々にとっても若い世代の皆さんが、このように活躍されていることは、非常に心強く感じています。

ほかにどなたか、御意見等はございませんか。御発言をお願いいたします。

#### 小川委員

近畿大学法学部の小川です。「減らそう犯罪」推進会議は、立ち上げ当初からお手伝いさせていただいております。

今日のお話を聞いて、非常に印象的でした。この運動が非常に効果を上げていることをとても喜んでおります。

実は、昨年、新しいアクションプランで「なくそう犯罪」を掲げて、これまでの活動を継続、発展させることになりましたが、私自身、この「なくそう犯罪」という名称に少し違和感を持ちました。犯罪を全くなくすことが本当に実現できるのだろうかと考えたというのが正直なところです。

先ほどから、犯罪の情勢を資料で御説明していただき、新しいアクションプランで掲げた犯罪認知件数の戦後最小の更新という目標を、初年度で達成できたと報告されました。非常に高い目標を掲げて、果たしてどの程度これを実現できるのだろうかという気持ちを持っていましたが、初年度でこれを実現できたと聞いて、「なくそう犯罪」が実現できるのではないかという気がして参りました。

お配りいただいた資料を拝見いたしますと、このように大きな成果を上げている広島県が全国では5位、広島市が8位であるとのことですが、これも注目に値すると思えます。



「減らそう犯罪」推進会議を立ち上げた時、まず、犯罪をピーク時から30%減らすことを目標に掲げました。次に半減を目指して、これらをすべて実現して参りました。はっきりと数値目標を掲げて犯罪の減少に取り組むという試みは、当時では画期的なことだったと思います。この広島モデルは全国的にも注目を集めて、それぞれの自治体の活動の参考にされたと伺っております。

私が強調したいのは、広島はこのように大きな成果を上げてきていますのに、全国の順位では必ずしも1位とはなっていないということです。これは、広島モデルが全国的に広がってきていることのおかげだと思います。広島は着実に犯罪の減少の実績を挙げていますのに、全国的にはほかの自治体が更に上位にきているということですから、全国的に広島モデルが定着したということで、これは歓迎すべき成果だといえます。

これらのことを踏まえて、ひとつお願いしたいことがあります。広島県の皆さんの中でも、このような広島の「減らそう犯罪」を推進する活動の成果を御存じない方も多いと思います。是非、この成果をしっかりと広報していただき、これからの活動の継続に自信を持って取り組んでもらいたいと思います。

もちろん、昨年と比べて大幅に増加している特殊詐欺被害もあり、子どもが被害者となる犯罪もあり、広島で全国的に注目を集める事件も発生しており、これまでも増して、注意喚起が必要です。注意すべきは注意し、効果を上げていることはきちんと広報し、この両面での取組が必要だと思います。

先ほど、福山大学の地域安全マップ作りの活用の紹介がありましたが、こういったことが「減らそう犯罪」推進会議の活動を進めていく中で、いろいろなところで芽が出てきている事例だと思います。こういう活動の芽をしっかりと私たちは大切に育てていくことが、これからの課題だと思いますので、継続して取り組んでいただければ、有り難いと思えました。

それから、ひとつ質問をしようと思いますが、資料1のところで、1位に熊本県が急上昇してきており、政令市で見ても6位に突然登場してきています。それ以外の自治体については、ここにある自治体の防犯の取組が定着しており、何年かに渡って上位を占めていますが、こういった新しい熊本県や熊本市は、どういった対応を行い上位を実現できたかを是非参考にして、広島を更に安全で安心して暮らしていけるような自治体になるよう、これからの取組をお願いしたいと思います。

#### **湯崎会長**

今の質問ですが、熊本の件について、いかがでしょうか。

#### **事務局（松宮安全安心推進課参事官）**

熊本県と広島県はどこが違うかと言いますと、大きく違うのは自転車盗と器物損壊が大きく違います。

自転車盗について見ますと鍵かけ、盗まれた自転車の施錠の状況は、広島県の方が、鍵かけの率は高いです。そして、中高校生が自転車を盗られている比率を見ますと広島県の方が少ないです。

一体どこが違うのかと考えますと、熊本県は、防犯カメラを積極的に付けておられます。駐輪場とか駐車場へ防犯対策としてカメラを付けていることが挙げられます。そのことで、自転車盗の他に器物損壊に大きな違いが出ています。30ポイントくらい広島と違いますが、これは、駐車場の自動車に傷を付けるものが主な内容ですが、これが30ポイントも違うということは、熊本は積極的に防犯カメラを設置していることで、駐車場における犯罪被害が抑止されています。公共空間での抑止効果・取組が熊本の方が進んでいるということでございます。



### 湯崎会長

熊本との違いは、数が違うということで、自転車盗等は数の上で非常に大きいです。プラスして本県では、女性等の安心感につながる取組についても力を入れていただきたいと思います。

また、数の視点についてもよろしく願いいたします。ちなみに熊本が突然1位に出てきたのは、新しく政令指定都市となりましたからで、恐らく熊本は都市の規模が小さいです、上位となったと思われます。それから成果について積極的に広報してほしいと御意見を頂きましたので、これについては、警察が中心となって取り組んでいただきたいと思います。

それから「なくそう犯罪」については、私が特にお願ひして「減らそう」から「なくそう」に変えていただきました。実は交通事故は「なくそう交通事故」になっていまして、事故は意図せざる事故もありますが、犯罪は人間の意思によって発生します。意思に作用されない事故は「なくそう」で、意思に作用される犯罪は「減らそう」では、これは少し考えないといけない、ということをお願いした訳です。それで「減らそう」から次の段階の「なくそう」に進めていただけたらと思った次第です。

引き続き、犯罪がなくなるというのは大変難しいことだと思いますが、高い理想に向かって進んでもらいたいと思います。また、県民総ぐるみ運動ということで学生さん、地域を含めて皆さんの御協力で取り組んでいただきたいと思います。

皆様から頂いた意見を踏まえ、来年の取組に反映させていただきたいと思います。今後とも皆様方の積極的な取組をお願いいたします。

それでは、ここで本日御出席者の皆様全員から御意見をお伺いしたいところではありますが、時間の都合もあり、意見交換はこのあたりで終了させていただきます。皆様方から頂きました御意見等を踏まえ、来年の取組方向に反映をさせていただきたいと思います。今後とも、皆様方の積極的な取組を、よろしく願いします。



次に、規約の一部改正案について協議を行います。  
事務局から説明をお願いします。

### 事務局（井上安全安心推進課調査官）

（資料5により広島県「減らそう犯罪」推進会議規約の一部改正について説明）

### 湯崎会長

ありがとうございました。御異議がなければ、拍手を持って、御承認を頂きたいと思いをます。

(一同拍手)

皆様には、熱心な御協議誠にありがとうございました。

予定しておりました、本日の議題につきましては、すべて終了いたしました。円滑な議事進行への御協力に感謝申し上げます。

それでは、進行を司会にお返しします。

### 司会

議事の進行、ありがとうございました。

それではここで、副会長から御意見を頂きたいと思いをます。

中原副会長の代理の川本様、お願いいたします。

### 川本副会長

今日、会議に出席いたしまして、本日の犯罪の情報を共有し、また、他団体と連携をしながら、消費者へ教育・啓発し、また、消費者被害に遭わないための情報を発信して参りたいと思いをます。

安全安心な犯罪のないまちづくり、犯罪を起こさせない、減らす、なくすという活動を皆様とより深く連携し意見交換しながら、これからも活動して参りたいと思いをますので、よろしくお願いをいたします。



### 司会

ありがとうございました。

それでは次に、角廣副会長、お願いいたします。

### 角廣副会長

先ほどの会議で行政側の説明は大変分かりやすく良かったと思いをます。委員の方々から御意見もあり、誠にありがとうございました。今後の活動に大いに参考にしたいと思いをます。

私ども県防連ですけれども、7,500名の大変多くのボランティアの方々地活動で県の防犯活動を支えていただいております。こうした中で本年4月に公益社団法人の認可を頂きました。これを励みに更に関係機関と連携し、防犯活動に注力して参りたいと思いをます。



### 司会

ありがとうございました。

それでは、井口副会長、お願いいたします。

## 井口副会長

私からは2つ話をさせていただきます。

ひとつは、刑法犯の認知件数が出ていますが、件数が半分になりました。では検挙はどうか、検挙件数は減り方が半分です。2割5分です。検挙人員は1割5分です。これは何を言っているのかと申しますと、認知件数が半分になったからといって警察官も半分でいいじゃないか、という訳ではないということです。もっと言いたいことは、認知件数に追われなくなったお陰で、早い段階で事件が解決できるようになっていること。事件は起こらないことがベストですが、起こった場合は、なるべく早期に検挙することが大切で、「減らそう犯罪」のお陰で犯罪総数が減ったために良い方向へサイクルが回っていることを、ここで話したいと思えます。

もうひとつは、過去10年間で大幅に動いているのがDV・ストーカー関係の相談件数で2倍になっています。校内暴力の認知件数は5倍になっています。

また、先ほどから話がありますように、オレオレ詐欺や未公開株の勧誘いわゆる電話を使った非対面型犯罪、特殊詐欺と呼んでいます。平成17年にピークを迎えまして、次にドスンと落ちて10分の1まで減りましたが、去年から増えてきてまして、今年、また急増中というイメージです。警察安全相談や110番の件数は、大体、微増、高止まりで推移しています。これをどのように解釈するかですが、学校、家族、会社、地域コミュニティの持っていました自立的な問題解決能力が弱ってきていることが、一因ではないかと思っております。

従いまして、災害と同様に、公助以外にも自助、共助、まさに県民総ぐるみの「減らそう犯罪」運動を積極的に展開していくことが重要と考えますので、今後ともよろしく願いいたします。

## 司会

ありがとうございました。

それでは、湯崎会長に、本日の会議のまとめを頂きたいと思えます。

湯崎会長、お願いいたします。

## 湯崎会長

委員の皆様には、大変貴重な御意見をちょうだいいたしまして、ありがとうございました。

来年も引き続き、「日本一安全・安心な広島県の実現」のため御協力を賜りますようお願いいたします。

本日は、熱心に協議を頂き、大変ありがとうございました。

## 司会

ありがとうございました。

以上を持ちまして、第11回広島県「減らそう犯罪」推進会議を終了いたします。

本日は、誠にありがとうございました。

